

黎明



VOL.40

平成29年11月30日発行
東洋大学校友会
富山県支部だより



東洋大学校友会富山県支部80周年記念大会 平成29年7月23日 パレブラン高志会館

Contents

- 2 ごあいさつ／歴代支部長より
- 3 記念大会出席者名簿・平成28年度事業報告・平成28年度決算報告
- 4 東洋大学校友会富山県支部80周年記念大会
- 6 振り返る我が青春 昭和～平成 あの頃の学生たち
- 10 新年の集い・呉西会・新川会・レディース会
- 12 白山会ゴルフコンペ・「新年の集い」案内・編集後記

富山の風景——⑧



国宝 瑞龍寺ライトアップ 撮影地：高岡市

支部80周年を記念して



富山県支部長 伊藤 政博

平成29年度、富山県支部は創立80周年を迎えました。昭和12年に産声を上げ、永きに渡り支部を築き上げ、支えてきていただいた歴代支部長はじめ諸先輩方には心から敬意と感謝を申し上げます。

今年度の総会を80周年記念大会とすることを幹事会で決定、協議を重ね、大会に向け準備を進めてまいりました。

東洋大学は志願者数が今年創立以来初めて10万人(全国大学ランキング6位)を突破し、新学部設立やグローバル化、世界の総合大学として歩みつつあります。また、著名な大学教授の就任や世界で活躍するスポーツ選手の輩出により知名度も年々アップしていると感じます。

こうした大学の躍進は我々校友や校友会活動にも活気を与えてくれるものです。県支部80周年は一つの通過点であり、これから90周年、100周年に向けてよりよい校友会を築いていかなければなりません。人と人の繋がりを大切に、声を掛け合い、校友会活動に老若男女問わずたくさんの方に参加いただき、盛り上がりを見せていければと思います。

校友の皆様のご健康をお祈りし、今後とも校友会活動にご尽力賜りますようお願い申し上げます。最後に80周年記念大会や増員の黎明第40号作成に関わった幹事はじめ関係者の皆様にご挨拶申し上げます。

歴代支部長より



堀田 良一 (平成13年4月～)

数えてみると母校を卒業して55年になる。77歳。喜寿だと、家族に祝ってもらったが、何か見えないゴールに一直線の感がある。まだ何か出来るぞと、フル参加しているパークゴルフと、公園散歩、カラオケなど、後期高齢者にぴったりの日々。何しろ町内では老人クラブの会長も務めあげた最長老だから。会えば「苦勞さん」労わりの声がかかる。

直接関係がないが、隣の隣の町内の朝乃山関が今、フイーバー、呉羽が燃えている。そんな中で校友会の支部総会は、新年会、総会などで若い人に会えるし、校歌を力一杯歌えて楽しい。いつの間にか、ここでも最長老。励ますどころか、いたわってもらえる身、年寄りも悪くない。支部長として6年間、支部の若返りに苦勞しながら成功したことが思い出深い。また校友会総会では議長団の一人に選ばれ、当時の北海道支部内の統廃合問題の、熱い議論に汗かいたことが今も懐かしい。



杉田 欣次 (平成19年4月～)

私が支部長を務めさせてさけて貰ったのは、平成19年度から21年度でした。就任年度、最初の仕事は県支部70周年事業の実施でした。学祖井上圓了墨跡展や羽島知之氏の記念講演など、会員の協力で盛会に終えることができたのは有り難かったです。

しかし一番嬉しかったのは、やはり箱根駅伝の21年、22年の二連覇です。この頃から、「実は私も東洋大学です」と声を掛けられることが多くなり、総会参加者も一気に多くなっていったように思います。

そこで思いましたのは、箱根駅伝の優勝に頼るだけでなく、日ごろから機会あることに声を掛けあうことの大切さでした。大学本部、校友会本部とともに、県支部が未永く発展していくことを願っています。

平成22年、杉田欣次前支部長から思いもよらぬ引き継ぎ依頼を頂き、支部長を受けて7年余りが経ちました。杉田前支部長は支部創立70周年の記念事業として記念誌を発行され、過去の資料や広報誌「黎明」を整理されました。そんな中での引き継ぎで杉田支部長には及ばないにしても富山県支部の組織体制の見直しを意識して支部運営に努めました。結果的には思ったことの半分も中々実現できず、組織の運営の難しさを感じた次第です。また、校友会本部や会員との連絡調整は事務局・会計を務めて頂いた杉田俊雄さん、森川芳一さんが手慣れておられ、大変お世話になりました。また、箱根駅伝での陸上部や野球部、相撲部、水泳部、アイスホッケー部等々、スポーツでの母校の活躍はめざましく、毎年のように祝勝会に参加させて頂きました。母校の活躍は校友に元気を与え、校友会への参加意識にも影響が出ていたような気がします。大学の知名度の向上、施設の整備、果敢な国際化へのチャレンジは目を見張るものがあり、今後も目が離せない大学になってきており心から喜んでいきます。



吉田 譲 (平成22年4月～)



水上 義行 (平成25年7月～)

東洋大学校友会富山県支部80周年記念大会 出席者 (敬称略)

来賓校友

羽島 知之(校友会会長) 東田 孝三(福井) 本郷 卓也(石川) 石田 秀男(新潟) 倉科 昌司(長野)
西中 節子(大阪) 平岡外喜子(大阪) 福島 良一(城南) 酒井 俊幸(陸上競技部)

校友会富山県支部校友

高木 保二(S36経済) 笹谷 伸雄(S37経済) 齋藤 芳攝(S38国文) 朝野 代三(S42土木)
中條 忠雄(S42商) 渡辺 國臣(S42土木) 杉田 欣次(S44法律) 水上 義行(S44教育)
古澤 弘宣(S44経済) 藤田 良久(S45社会) 杉下 喬(S45応社) 黒坂 康之(S45応社)
女川 憲夫(S45土木) 西崎 一雄(S45経済) 青山 清寛(S46商) 沢木 清一(S48経済)
西部 英信(S48社会) 澤開 義範(S48経済) 山尾 友一(S49法律) 吉岡 保(S49土木)
吉田 譲(S52経営) 前多 悟(S52経営) 本庄 恵子(S52英文文) 本江真祐美(S53経営)
城口 良成(S54経営) 中島 康博(S54経済) 宮崎 敦子(S55国文) 高畑 務(S55法律)
松本 修一(S55法律) 寺崎 昭彦(S56経法) 道用 慎一(S56経営) 杉田 俊雄(S58 法律)
柴田 哲人(S58経済) 伊藤 政博(S59経済) 植野 隆夫(S59経済) 橋本 尚(S60土木)
早崎 浩行(S60商) 加藤裕一郎(S63機械) 森川 芳一(S63法律) 浅野 明子(H1国文)
七澤 久徳(H2商) 繩井 恵美(H2短英文) 篠田 公夫(H4国文) 清見 昇(H4応社)
柴田 清成(H7経済) 金三津貴子(H7経営) 南日 邦男(H9経済) 小久米秀昭(H9経法)
大野 政治(H10建築) 東条 叙宏(H11法律) 清水 慶太(H11商) 井藤 昌俊(H15法律)
古幡 政博(H20メディア) 小竹 裕貴(H21経済) 五十嵐 彩(H25会計) 川原 卓也(H25総合情報)
恩田 駿(H28メディア) 志鷹 涼(H29企業法)

平成28年度 事業報告 (平成28年4月～平成29年3月)

- 4月16日(土) 呉西会(25名参加)
6月5日(日) 幹事会(総会準備、決算予算、改選)
6月11日(土) 第57回白山会ゴルフコンペ(9名参加)
7月1日(金) 新川会(15名参加)
7月24日(日) 支部総会 講演会 懇親会(47名参加)
9月11日(日) 幹事会(総会の反省など)
10月1日(土) 第58回白山会ゴルフコンペ(8名参加)
10月8日(土) 第20回東都大学OB交歓ゴルフ大会(17名参加)
10月30日(日) レディース会(8名参加)
11月27日(日) 幹事会(黎明の発刊、新年会について)
1月8日(日) 新年会(50名参加)
1月29日(日) 幹事会(新年会の反省、80周年事業)
3月12日(日) 幹事会(28年度事業会計報告、80周年事業)

※黎明39号の発刊 600部(11月27日封筒詰め、発送作業)
●校友会本部事業への参加
5月21日(土) 全国支部長会
5月22日(日) 全国校友大会(2名参加)
11月28日(月) オール東洋スポーツマンクラブゴルフ大会(3名参加)

平成28年度 決算報告 (平成28年4月～平成29年3月)

Table with 2 columns: 科目, 決算額. Includes sub-sections for 本部交付金 and 支部内経費支出.

Table with 2 columns: 科目, 決算額. Includes sub-sections for 支部内経費支出 and 次期繰越収支差額の内訳.

Table with 3 columns: 科目, 金額, 摘要. Lists 別途積立金の details.

※寄稿いただいた方のみ掲載しています。

東洋大学校友会 富山県支部80周年記念大会

東洋大学校友会富山県支部80周年記念大会は平成29年7月23日(日)に開催されました。記念事業として陸上競技部長距離部門の酒井俊幸監督部門の酒井俊幸監督をお招きし、ランナーズ教室と講演会を行いました。記念祝賀会には校友会の羽鳥知之会長や酒井監督ら総勢66人が参加し、世代の枠を超えて節目の年を祝いました。北日本新聞社後援。

〈記念講演〉
演題：「その一秒をけずりだせ
箱根駅伝を通じて」
講師：東洋大学陸上競技部長距離部門監督
酒井俊幸氏



酒井俊幸監督

略歴

1976年、福島県石川町出身。99年(平成11年)東洋大学経済学部卒業。コニカ(現コニカミルタ)に入社し、2001年から全日本実業団駅伝3連覇に貢献。05年、母校学芸法石川高校の社会科教員となり陸上部顧問を務める。09年3月、川嶋伸次監督の後任に抜てきされ32歳で就任。翌年の第86回で箱根駅伝連覇を達成。箱根では就任後8回で優勝3回、準優勝4回、3位1回と常に優勝を争うチームへと導いた。

宣伝の意味では漢字の方がすぐに分かります。箱根駅伝の視聴率は30%近くになるそうですが、そこで画面に映るのはそれなりの宣伝効果があります。陸上でスポーツ紙の1面を飾るのには箱根駅伝と、今話題の男子100メートルくらいでしょうか。桐生祥秀選手(法学部4年)が「T」のユニフォームで9秒台を出してくれないかなと思っています。(編注：桐生選手は9月9日、福井市で行われた日本学生対校選手権100メートル決勝で9秒98を記録して優勝。日本人初の9秒台スプリンターとなりました)

箱根に関しては、柏原のことに触れないわけにはいきません。残念ながらことし3月で競技を引退しました。今は富士通のスポーツ部門のサポートや広報の仕事をしています。彼は東日本大震災翌年の大会で「僕が苦しいのは1時間



80周年記念大会実行委員長の水上前支部長の発声で乾杯

各地の校友会からは、たくさん講演に呼ばれています。週末は合宿や試合でなかなか応じられないのですが、富山県支部は陸上部の先輩が多いからついでに「避けて通れないな」と思いついて来ていただきました(笑)。

東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)3連覇を目指した第87回(平成23年)で、東洋大学は優勝した早稲田大学に21秒差、距離にして約100メートル差で負けました。この敗戦をきっかけに、「その一秒をけずりだせ」というスローガンを決めました。その年の3月、東日本大震災も起きました。私は福島県の出身で、当時エースだった柏原竜二も含め、チームには福島出身者が8人いました。「故郷のために」そんな思いも込めたのです。

東洋大学陸上競技部は1927年(昭和2年)に創部しました。箱根駅伝への初出場は33年(同8年)の第14回です。2009年(平成21年)に初優勝しましたが、出場67回目での栄冠は最も時間がかかった優勝となりました。翌年の大会は私が指揮を執って連覇を達成し、現在に至っています。

ちょっと。福島の人たちに比べたら全然きつくなかったとか、1年の時に「奇跡は信じなければ起きない」など、強いメッセージのある走りや言葉が多く残りました。彼がいたことで東洋大学のスポーツについての取り組みも変わっていったと思います。

毎年、学生が入れ替わる中で、常勝チームをどうつくっていくのか、常に優勝を目指すというモチベーションを維持させることは簡単ではありません。では強いチームとはどんなチームなのか。人材をまずつくりたいとチームとして成り立ちません。埼玉県の川越キャンパス内に寮と競技場があります。午前5時から朝練習を行います。私も4時半くらいに起きますが、寝坊してしまうと信頼関係が崩れてしまうので、前日にお酒を飲んでも出るようにしています。なぜ5時からやるかというと、白山キャンパスでの9時の授業に間に合うように逆算しているからです。トレーニング機器や環境に関しては、大学の中でもトップレベルです。ナイターがあるおかげで、朝と夕方のトレーニングが可能になりました。しかし、あくまでも授業が優先で、曜日ごとに練習メニューをつくって「行動の習慣化」をしています。また、寮内の環境についても、清掃が行き届いて整頓されているかが、チーム力に比例します。

指導する上で大事なことは、いかに達成感を与えるかだと思っています。一生懸命やっても相手が強いこともあります。「もつとやれたはずなのに」と思っただけの時の方が悔しいものです。しっかりとやるべきことをやった時、優勝を手に入れています。それはどんなスポーツもそうです。卒業して社会に出てからもそうです。すべてつながっています。学生には、陰日向のない努力

箱根駅伝は2017年(同29年)で93回を数え、学生スポーツの中でも非常に歴史のある大会です。1月2日が往路、3日が復路。東京・大手町の読売新聞社本社前をスタートして神奈川・箱根町の芦ノ湖がゴールで、これを往復します。1人20キロ強を走り、約217キロを10人でつなぎます。他の大会と違う所は、12月10日に16人をエントリーし、走る選手10人を当てはめる区間エントリーが29日と早いことです。インフルエンザやノロウイルスが流行する時期のため、ベストコンディションで大会を迎えられるかどうかも実力のうちになってきます。

箱根駅伝は各校が車で伴走し、一部で声掛けが許されています。その際、選手には区間順位、前後との差、道路のコース取りなどをアドバースします。お前、この4年間いろいろあったよな」など、叱咤激励する言葉を添えることもあります。追いつけられている場面では、「お前、何やってんだ!」と熱が入ってしまい、ネット上には



講演会には約130人が訪れた

の積み重ねを求めています。受け身ではなくて自ら動いていけるような選手になってほしいと思っています。目標は高く、視野は広く、考えは深く。我流ではなく一流を目指してほしいと、常々伝えています。

才能は残念ながら平等ではありません。しかしチャンスと時間は平等に与えられています。学生たちには、いろんな家庭環境の子がいます。経済的に恵まれない子、母子・父子家庭の子。自分では変えられない宿命がありますが、運は自分の振る舞いや行動次第で変わってくることもあると思います。学生たちには、自分の競技人生と東洋大学陸上競技部としてのチームの伝統を、さらに刻んでほしいと思っています。

文責 清見 昇(平成4年応社)



陸上部OBが「観想の華」を熱唱



恒例のエールを送る杉下喬さん



実行委員長と支部長のあいさつや支部活動を紹介したプログラムを作成



校友との記念撮影に収まる酒井監督

動画がアップされて「酒井はDS」と言われています(笑)。

給水は何を飲んでいると思いますか。箱根駅伝のスポンサーはサッポロビールです。ただビールを飲ませるわけにはいきません。サッポロにはスポーツドリンクが無かったため、しばらくは水を飲んでいました。しかし、ナトリウムやミネラル分が体外に出てしまうので水はあまり良くありません。できればスポーツドリンクが欲しいという話を再三して、今はサッポロ系列のポッカから支給されています。

ユニフォームですが、現在の東洋大学は「T」の表記です。出場回数が多いチームほど、校名はアルファベットです。最も優勝回数が多い中央大学は「C」、古豪の日本大学も「N」、法政大学は「H」、そして早稲田大学は「W」です。テレビ中継が始まってから優勝経験のある大東文化大学、神奈川大学、山梨学院大学、駒澤大学、そして青山学院大学などはアルファベットではありません。

ランナーズ教室

場所：富山県空港スポーツ緑地
陸上競技場

酒井監督の来県に合わせ、県内のランナーを対象としたランニング教室を開催しました。陸上競技部OBの柴田清成さん、東条叙宏さん、川原卓也さんが呼び掛け、小、中、高校生を含む幅広い世代のランナー約50人が参加しました。

あいにくの雨となりましたが、酒井監督はトレーニング方法などを指導し「日々の練習を大事にしてください」とアドバイスしました。



80th



1988 (昭和63年) ファミコン 「ドラゴンクエスト」 人気過熱	1987 (昭和62年) 国鉄分割民営化	1986 (昭和61年) チエルノフイリ 原発事故	1985 (昭和60年) 日航ジャンボ機 墜落事故	1982 (昭和57年) 校内暴力が 社会問題化	1977 (昭和52年) 朝霞キャンパス開設	1976 (昭和51年) ロッキード事件発覚	1973 (昭和48年) 第一次石油危機 (オイルショック)	1972 (昭和47年) 札幌オリンピック、 沖縄返還 あさま山荘事件	1970 (昭和45年) 日本万国博覧会 (大阪万博)開催 よど号ハイジャック事件 三島由紀夫自決	1969 (昭和44年) アポロ11号人類初の 月面着陸 全共闘、東大安田講堂 占拠	1968 (昭和43年) 3億円強奪事件	1966 (昭和41年) 経営学部設置 ビートルズ来日公演 日本の総人口 1億人突破	1964 (昭和39年) 東京オリンピック開催 東海道新幹線開通
--	----------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------	------------------------------	---	---	--	---	----------------------------	---	---



城口 良成
(昭和54年 経営)

松沼投手の時代。
野球部の
初優勝
をよく覚えています。

●当時の住まい／五反田(家賃3万円)

東洋は自分のレベルの大学の中で学費が安かった。麻雀、パチンコ、旅行などが楽しめました。喫茶店、ラーメン店、回転寿司など飲食系のバイトをしていましたね。

箱根駅伝出場が一番の思い出。
勉強はしなかったなあ。



伊藤 政博
(昭和59年 経済)

●当時の住まい／川越(鶴ヶ島)

陸上をしたかったのが入学の理由。なんとかかかりました。バイトは交通調査をやったことがあります。遊びに行ったのは池袋ですかね。帰省には時間が掛かりました。新幹線は卒業後に開通です(笑)

朝霞キャンパスができて、
体育の授業に週1で通いました。

白岩美津子(昭和56年 国文)

●当時の住まい／三鷹、江古田

東洋大を選んだのは高校の担任の先生に勧められて。学費も安かったので。帰省には6時間くらいかかりました。バイトは富山に帰り立山室堂で森林パトロールをやっていました。よく遊んでいたのは新宿や池袋です。

私が選ぶ学生時代の三大ニュース
①松沼(弟)の時代、東都リーグで野球部が優勝。校内で樽酒が振る舞われた
②富山の女性に関わる事件が色々起きる。富山の女性は怖いと言われた
③山口百恵さんの引退発表

本江真祐美(昭和53年 経営)

●当時の住まい／女子寮、錦糸町、板橋

東洋大は地方試験があった事と学費の面で選びました。涌田ゼミで学んだことをよく思い出します。銀座や新宿によく行きました。ウエイトレスや建設関係の会社の事務のバイトをしました。

私が選ぶ学生時代の三大ニュース
①体育の授業 後楽園ホールでプロゴルファーに習った
②ストライキが多かった
③情報電算室でフォートラン、コボルのプログラムでコンピュータを使用した

学生紛争で学年末試験が
できないこともありました。

宮崎 敦子
(昭和55年 国文)

●当時の住まい／松戸市、新小岩、西栗鴨

学費が安いのは魅力ですね。よく行ったのは新宿、六義園。サークルの合唱団の活動中心の学生時代でした。帰省では夜行(越前、能登)にも乗りました。大雪のときは10時間かかったこともありましたがね。

東京には
名画座があり、
いろいろな映画を
安く観ました。

杉田 俊雄
(昭和58年 法律)

●当時の住まい／小石川

在学中新旧問わず映画を観まくった。1年間で365本観た年もあった。レンタルビデオなどない時代だから、当然すべて映画館で、です。

印象に残っているニュースは
ジョン・レノンの殺害事件(通学中の話題であった。)
ヒッチコック監督の死去(有楽町のスバル座で追悼の上映があり、観に行ったら、これを企画した水野晴郎氏がロビーにいた。)

運送や出版など
アルバイトに熱中していました。



植野 隆夫
(昭和59年 経済)

●当時の住まい／板橋(大山)

大学選びの理由は文京区だったから。楽しい学生生活でした。富山・長野連続女性誘拐殺人事件があり、富山と言えばあの事件みないな時代でしたね。



山尾 友一
(昭和49年 法律)

●当時の住まい／白山四丁目、赤羽

バドミントン部に所属していました。愛好会から部への昇格で体育会本部との闘争が思い出されます。パチンコ店でバイトをしていました。

山岸 玲子
(昭和50年 史学)

●当時の住まい／高田馬場

特急白山で帰省していましたが最初のころは8時間もかかりました。※ちなみに白山は一日に1から3号までありました

美術史を学びたくて歴史学のある大学をと思っていたのですが、何と入学後に美術史を教える指導者がいないと告げられショックを受けました。池袋や渋谷のバルコや西武デパートによく行きました。バイトはいとこの紹介で青山のスーパーにある花屋&ペット店で。当時はキャンパスは狭くて。今はとてもきれいになりましたね。

私が選ぶ学生時代の三大ニュース
①後楽園で初めてのアイススケート体験 ミニスカートでしたが一度も転ばず…
②ミニスカート流行の初期!狼カットも大流行。私も楽しみました
③電車内でしばしば痴漢被害にあいました

初めての都会暮らしが思い出です。

本庄 恵子
(昭和52年 英米文)

●当時の住まい／川崎、巣鴨

高校に東洋大の先生がいらっやっったのがきっかけでした。池袋や新宿でも遊びましたがサークル活動が一番の思い出です。部室や学食にいることも多かったです。事務や販売のアルバイトを経験しました。



笹谷 伸雄
(昭和37年 経済)

ラグビーに
熱中した
毎日でした。

●当時の住まい／東中野
(家賃1万6千円・食事付)

ラグビー部に所属していました。部の強化等に苦労した思い出もあります。

喫茶店でディスクジョッキー
をしていました。

水井 正隆(昭和42年 応用社会)

●当時の住まい／駒込

マスコミ志望だったので関連したことが学べる学科へ入学しました。「楽しかった青春時代」の一言につきます。

私が選ぶ学生時代の三大ニュース
①文連の北陸、中部演奏旅行 ②卒業旅行で友人と二人で九州一周
③学園祭の準備と運営

東京に
行きたかった。
工学部に
行きたかった。

渡辺 國臣(昭和42年 土木)

●当時の住まい／川越の第2寮、鶴ヶ島(家賃4千円)

建築現場の手本・土木教室の試験機を使用して鋼材(PC線)の波労試験というバイトをしていました。学業で苦労したのはコンクリートの配合等の試験です。

全学連関係の事件を思い出します。



水上 義行
(昭和44年 教育)

●当時の住まい／与野(知人宅で家賃5千円)

文学部に教育学科が設置されたので入学しました。学業では僻地教育に関するテーマに取り組みました。サークルではソフトボールをやっていました。サンケイ新聞をはじめ土木、運輸、流通など様々なバイトも経験しましたね。

80th

2016 (平成28年) 熊本地震	2012 (平成24年) 白山キャンパス 125周年記念館完成	2011 (平成23年) 東日本大震災、 福島第一原子力発電所事故	2010 (平成22年) 川越キャンパス7号館、 板倉キャンパス5号館完成	2009 (平成21年) 工学部を再編し 理工学部を設置 箱根駅伝初優勝	2006 (平成18年) 白山第2キャンパスを開設、 法科大学院が移転 経済額研究科公民連携 専攻設置	2005 (平成16年) 白山キャンパス6号館完成 文系5学部の「貫教育」開始 朝霞キャンパスにライフ デザイン学部を設置	2004 (平成16年) 法科大学院 専門職大学 院法務研究科法務専攻 を設置	2003 (平成15年) 白山キャンパスに 井上記念館が完成	2002 (平成14年) ワールドカップ 日韓大会	1999 (平成11年) 東海村JCO臨界事故	1997 (平成9年) バイオ・ナノエレクトロ ニクス研究センターを設置 板倉キャンパス開設 国際地域学部 生命科学部を設置	1995 (平成7年) 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	1992 (平成4年) 白山キャンパス 1号館完成	1990 (平成2年) 白山キャンパス 再開発がスタート 井上田了記念学術 センターを設置	1989 (昭和64年/平成元年) 昭和天皇崩御、皇太子 明仁親王が天皇に践祚 平成に改元 消費税施行(3%)
-------------------------	--	--	--	--	--	--	---	---	------------------------------------	-------------------------------	--	---------------------------------------	------------------------------------	--	--

渋谷、原宿、青山 どこでも行きましたが、 やっぱり池袋。

縄井 恵美
(平成2年 短大英)

●当時の住まい/大泉学園

兄が通っていたので東洋大なら正当な理由で
家をでられると思いました。
池袋の居酒屋でバイトしていました。芸能人も
ときどき見かけたり…

私が選んだ学生時代の三大ニュース

- ①昭和から平成になった
- ②舞浜駅ができてディズニーランドが近くなった
- ③自分たちの卒業後に校舎が取り壊されると知った

大学生生活を 楽しみました。

玉森 陽子(平成9年 経営)

●当時の住まい/朝霞 大山

イタリアンのお店でバイトしました。

私が選んだ学生時代の三大ニュース

- ①親元を離れ一人暮らし
- ②東京でのアルバイト
- ③海外留学(東洋大提携のオレゴン州立大に1ヶ月)

ストリートダンスに熱中していました。



松井 寛絵
(平成29年 健康スポーツ)

●当時の住まい/鶴瀬(家賃5万7千円)

行きたい学科があるということで東洋大を選びました。
Snow Dancerというダンスのサークルに所属していました。
飲食店でバイトしていましたがサークルも含め学業と両立するのは大変でした。
在学中には富山第一高校のサッカー部が全国大会で優勝、消費税が8%に、北陸新幹線開業というニュースが印象的です。



今でもつき合える 友人を得ました。



白山4年間
一貫教育が
スタートしました。

小竹 裕貴
(平成21年 経済)

●当時の住まい/板橋区蓮根、豊島園(転勤してきた父と同居)

神宮球場や東伏見のアイスアリーナ。大学スポーツの
応援によく行きました。
9.26(バドミントン)、フォルティシモ(フットサル)という
サークルに所属していました。
バイトは東洋大学大学院教務課事務、経済学科
e-learning教材作成、経済学科情報リテラシー授業SA

在学中のニュースはリーマンショック(内定が出て5か
月後。その後就職氷河期に…)、そして4年生のときの東
洋大学箱根駅伝初優勝です。



金三津貴子
(平成7年 経営)

●当時の住まい/朝霞

一芸推薦で入学しました。会計事務所、
テレアポ、カジバーなど色々バイトもし
ました。よく学ばず、よく遊びました。
よく行ったのは池袋です。

箱根駅伝の活躍を 見て入学しました。

五十嵐 彩(平成25年 会計ファイナンス)

●当時の住まい/駒込(家賃9万円)

箱根駅伝の応援とバイトに熱中していました。
バイトはコンビニや公文の採点など。
在学中印象に残っている出来事は箱根駅伝の総合優勝、ロン
ドオリンピックで村田諒太選手の金メダル、東日本大震災です。

国鉄がJRに。 富山との交通手段も 上越新幹線の時代へ。



加藤裕一郎
(昭和63年 機械)

●当時の住まい/大山(家賃約3万円)

マクドナルドでバイトをしていました。

時はバブル。夜のバイトに精励。

清見 昇
(平成4年 応用社会)

●当時の住まい/鶴瀬(家賃4万7千円)、
八幡山(同5万6千円)

テレビ局か新聞社への就職を目指し
ており、応用社会学科にマスコミ専攻があったので
東洋を選びました。国公立は惨敗でした。

バイトはテレビ番組-CMのエキストラ、六本木のディスコ店員、カラオケパブ、
居酒屋のウェイター、
サークル活動はピンクパンサーセブン(PPS)というテニスサークルの幽霊
部員とバブルっぽい感じです。

在学中、印象に残っている国内外の出来事やニュースは
昭和天皇崩御、大喪の礼、東京・埼玉幼女連続誘拐殺人事件
東北・上越新幹線が東京駅乗り入れ、
オウム真理教の真理党が衆院選に立候補です。



野球部が優勝した翌日 急性アルコール中毒で救急車が8台出動。 新聞にも載りました。



清水 誠
(昭和61年 法律)

●当時の住まい/西荻窪(家賃3万円)

児童文化研究部とカラオケサークルに
入っていました。
バイトは居酒屋やイベント設営の仕事でした。
在学中父を亡くし、家業の勉強を始めたのが
大変な思い出です。

2号館地下のサークルボックスは 篠田 公夫(平成4年 国文) 暗くて、怖かった。

●当時の住まい/上福岡、中板橋

自主制作の8mm映画制作に没頭していました。
今思うと活動していたサークルボックスは変な空間でした。
バイトは病院の当直の仕事をしていました。
(救急車が来たら先生を呼びに行くんです)



森川 芳一
(昭和63年 法律)

●当時の住まい/大泉学園

混声合唱部に所属していました。
合唱に熱中し学業には苦労した4年間で
した。なぜかモテた時期でもありました。
今だから言えますが親には飛行機で帰ると
お金をもらい各駅停車で帰って差額を浮
かしたこともありました。
大きな事件としては日航機墜落等が思い出
されます。

大学創立100周年。 サントリーホールに こけらおとしの年に 歌う事が できました。

新年の集い

1月8日(日)

平成29年1月8日(日)午後6時より、毎年恒例の「新年の集い」が開催されました。今年も西年、鶏繋がりで行った新桜町ビルにある「地鶏居酒屋 鶏つく」にて、中央の大部屋をぶち抜き、45名の席を確保しました。ありがたいことに予定以上の会員のドタ参加があり、アレコレとしているうちに席が足りず、「迷惑」と不満を感じた会員の方もいらつしやうと思えます。さらに当日は成人の日と重なり、店の中には成人式帰りの若人が大勢見受けられ、店側もテンヤワンヤでありました。



そんな中、平成9年卒の私は「あれから20年！」と感慨に耽る余裕もなく、仰せつかった司会進行役を大部屋の廊下より務めておりました。マイクの無い中で、果たして進行できていたかどうかはさておき、ゲストの紹介が今回のハイライトでした。

2017年度に新入学される、陸上部の岡里彰大さん(富山商業)、柔道部の丸田湧大さん(富山第一)。恩師から紹介されると会場から盛大な拍手と「ガンバレ」の激励も飛び、名に「大」の字がある2名に、大物になる予感しか無いと大きな期待を膨らませつつ、彼らは初めて聞くであろう東洋大学校歌を皆で歌い、会は盛会のうちに終焉を迎えました。

二次会は恒例となっております、こちら鶏繋がり「一番鳥」にて、また席を確保できるかという不安と共に、大半の方が参加され、大いに盛り上がりました。一次会であれだけ飲み食いしておきながらも、まだいけますかという驚きと頼もしさを覚えながら、来年の一次会はもう少し格調の高い場所でもよいのでは、と思う今日この頃です。

この原稿を書きながら、「一番鳥」の手羽先揚げが頭をよぎり、居てもたってもいられなくなつてくるのは、皆さん経験がおありだと思えます。

来年の新年会、校友会がより盛大になることを楽しみにしております。

報告 南日 邦男(平成9年経済)

第十三回 新川会

7月8日(土)

平成29年7月8日(土)、魚津のスカイホテル内「日本料理かづみ野」において、新川会が開催されました。

新川地区に在住する校友16名と一緒に、今回は8月に魚津で行う合宿の打ち合わせに由来、体育会少林寺拳法部監督及び、コーチ、選手の3名が、OB吉田譲さんの導きで参加されました。

また今回は女性の校友も多く参加され、新川会に「華」を添えてくれました。

初めに、富山市建設部建設技術統括官植野芳彦さん(昭和56年土木)による「ご挨拶遅れました。富山市に赴任しました人生のリクス・マネジメント」と題する講演を拝聴しました。

長く壮大なプロジェクトを率いてこれた橋梁技術を、環境未来型都市富山市の実現に向けて、その技術を懸命に伝えておられます。しかし、どんなに壮大なプロジェクトでもまずは「人」、「人を育てることがすべてにおいて大切なこと」とお話しされたことにたいへん共感しました。

続いての懇親会では、美味しい料理と美味しい酒に舌鼓を打ちながら、先輩、後輩がお互いの近況報告や大学時代の思い出話などを語り合い、和やかな雰囲気な校友同士の交流を深めていきました。とりわけ、スポーツなどで活躍する後輩たちや、日々発展している母校の話題が肴になると、より「層」美味しいお酒となりました。



最後に全員で母校への思いを胸に校歌を歌いました。そして次の日も元気でおいでしよう約束し合いました。

今年も富山県支部80周年の節目の年です。新川会も支部活動として、今後もしっかり歴史を刻んでいけることを願っています。

報告 森川 芳一(昭和63年法律)

第十二回 呉西会

4月22日(土)

平成29年4月22日(土)に今年で12回目となる「呉西会」を開催いたしました。

場所はウイングウイング高岡6階の高岡市男女平等推進センター会議室でした。まずは皆で、大学から提供されたDVDの視聴をしました。これは、現在の大学の紹介と理事長である福川伸次氏のインタビューが収録されたものでした。その後、講演会が行われました。講師として、校友でもある学校法人浦山学園理事長、浦山哲郎氏(昭和46年商)を迎え、「地学一体」地域課題解決拠点としての教育・研究機関を目指して」という演題にてお話しいただきました。地方からの人口流出や人工知能やロボットによる代替可能性が高い職種、思考を問うこととなる2020年からの入試改革についてなど、社会変化に対する認識を持つこと、それに対応するための親として、親になるための学びを展開し、職業教育の高度化、グローバル人材の育成などが重要であるという内容でした。グローバル化など東洋大学の方針と同じだなと思えました。講演前のDVDで福川理事長が85歳のご高齢にもかかわらず、第一線で活躍されているのを見て、浦山さんは、「まだ引退せず頑張らなくてはならないのかな」と恐縮されていたのが印象的でした。



講師の浦山哲郎氏

懇親会は、場所をマンテンホテル2階の「カジュアルダイニングBON」に移動し、山尾具西会会長の挨拶のあと、伊藤支部長の乾杯により始まりました。参加者全員が近況報告などのスピーチを行い、最後は皆で校歌を歌うなどして、楽しいひと時を過ごすことができました。



今回は26名の参加となり、呉西会の世話係が手分けして声がけするという数年前からの対策が効果を表して安定的な人数になってきていると思えます。今後は30名を目標にして、県の校友会の底上げにも協力できるような「呉西会」であるようにしたいです。

報告 杉田 俊雄(昭和58年法律)

レディース会

10月7日(土)

平成29年10月7日(土)、レディース会が開催されました。前日の大きな雨が嘘のように晴れ上がり、時折夏のような日差しが射すいいお天気に恵まれました。今年も八尾町に行ってきました。はじめに「八尾おわら資料館」で映像や展示資料を見学しました。富山に居ながら「おわら」について知らないことが多く、おわらをもっと知るいい機会になりました。その後、石畳のゆるやかな坂道が続く八尾の町をゆっくり散策しました。ちょうどこの日は「坂のまちアートin やつお2017」が開催されており、町屋や神社の境内で思い思いのアートが披露されていました。私たちも時々足を止めて、絵画やハーブ演奏の鑑賞を楽しみました。



水井氏が経営する「眺望茶処 風の家」

八尾の町並みを十分楽しんだ後は、「眺望茶処 風の家」(昭和42年応社水井正隆さん・昭和42年短大国語 君江さんご夫妻経営でランチを頂きました。壁一面の窓から見える、川の流れや田園風景、そして遠くに見える立山連峰を眺めながらお互いの近況報告や学生時代の思い出話など女子会トークを楽しみました。またお料理やデザートには水井さんご夫妻の手作り野菜やフルーツがふんだんに使われていて、自然のやさしい味を大変美味しく頂きました。

今回は初参加の方こそいらつしやうなかつたですが、気のおけない皆様方と一緒に町並み散策と美味しいランチを存分に楽しませて頂きました。有難うございました。

報告 縄井 恵美(平成2年短大英)

白山会ゴルフコンペ

第59回 7月1日(土) 太閤山カントリークラブ

優勝 加藤裕一郎 (昭和63年機械)

第60回 10月2日(月) 魚津国際カントリークラブ

優勝 水上 義行 (昭和44年教育)

第21回東都大学OB交歓ゴルフ大会

東都大学野球リーグに属する大学のOB・OGが集うコンペが、国土館大が幹事校を務める中、10月14日(土)微風で薄く雲が広がる良好なコンディションの富山カントリークラブで行われ、総勢104人(東洋大14名)が競いました。結果は、団体戦は専修大が3連覇し、母校は7位と少々振るいませんでした。今大会では、大阪府支部4名が選手として来富し、内外の多くのゴルフ愛好家の皆さんと懇親を深めました。白山会では、若い力を募集しています。ゴルフが得意な方々はもちろん、反省会(?)が好きな方々もお待ちしています。

白山会 加藤裕一郎



「新年の集い」のご案内

- 日 時：平成30年1月7日(日) 18:00~20:00
- ところ：富山地铁ホテル11F「アルシェフ」

☎ お問い合わせは事務局まで



編集後記

前多 悟(昭和52年経営)

- ◆ 校友会富山県支部創立80年、そして黎明もちょうど40号ということで、今回は少し紙面を増やし「振り返る我が青春」と題し寄稿をいただきました。あ那时的学生時代が、懐かしくそして少し切ない記憶がよみがえったのではないのでしょうか。思えば、80年という支部の歴史を受け継ぐ私たちは幸せであり、これからもその歴史を積み重ねていくためにも、校友の支部活動参加と、併せて黎明への寄稿をお待ちしております。

Topics

羽島知之の校友会会長が来県を機に新聞史料を寄贈。7月24日付北日本新聞で紹介されました。



新聞史料48点寄贈
羽島さん(東洋文化新聞研究所)本社に
東洋文化新聞研究所(東京)から昭和初期にかけての新聞都目黒区IIの代表を務める羽島知之さん(82)同IIが23日、富山市婦中町島本郷の北日本新聞越中座を訪れ、明治48点から昭和初期にかけての新聞48点を寄贈した。羽島さんは約70年にわたり日、富山新聞や関連する資料を収集し、日本新聞越中座を訪れ、明治48点から昭和初期にかけての新聞48点を寄贈した。羽島さん(82)同IIが23日、富山市婦中町島本郷の北日本新聞越中座を訪れ、明治48点から昭和初期にかけての新聞48点を寄贈した。羽島さん(82)同IIが23日、富山市婦中町島本郷の北日本新聞越中座を訪れ、明治48点から昭和初期にかけての新聞48点を寄贈した。

北日本新聞社提供

- ◆ 最近では本校のスポーツの話題といえば陸上(駅伝)、水泳が多いですが、当支部にもOBがおられる野球・相撲のニュースもここで挙げておきます。野球部は今年の東都大学リーグにおいて春季、秋季と2季連続優勝を果たした。相撲部は全国学生相撲選手権の団体戦において2年連続優勝を果たしております。今後も様々な競技に注目していきましょう。

お願い 事務局では「黎明」に掲載する原稿を募集しています。事務局までお気軽にお寄せ下さい。お待ちしております。

事務局	森川 芳一	〒930-0221 立山町前沢994-8
		☎076-463-5681
	清見 昇	〒932-0045 小矢部市中央町2-23
		☎0766-67-5506

題字によせて
「観想の華」の二番に「護国愛理の金字塔 不滅の城の王者なる 時黎明の鐘なれば……」とあります。「黎明」には夜明け、物事の始まりという意があり、富山県支部会も新たに再出発しようという心意気を表しました。揮毫は齋藤芳攝氏。